
人間ボケた者勝ち

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人間ボケた者勝ち

【Nコード】

N21470

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

老後、認知症になった方が人生幸せ

(前書き)

携わる職種の為でしょうか？

長い間、この業界に携わっていると思う事があります。それは「人間ボケた者勝ち」って事です。それは何故かと言うと、これからお話します。

福祉業界、その中に老人介護という分野があります。俗に養護老人ホームや特別養護老人ホーム、老人保健施設、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、ホームヘルプサービスといった類いです。

その内で私は特別養護老人ホームという分野に携わる者です。

こういう施設には身体及び精神に何らかの障害や疾病を持った方が入所してきます。ほぼ自立生活が可能かと思われる『要介護1』と分類される方から、何らかの疾病、事故、生活習慣により寝たきりと呼ばれる『要介護5』と分類される方までが生活されています。そしてその約8割の方々が、軽中度のボケ（今は認知症という）を患っています。残りの2割の方々が認知症を患うことなく生活しているのです。

自立で認知症を患っていない方達は生活に多少の制限がかかるものの、何ら支障をきたす事なく生活されていますが、寝たきりで認知症を患っていない方は、多分最悪です。

想像してみてください。あなたが今寝たきり（寝返りも自分で出来ない）になって、食事の世話から入浴、排泄の世話まで同性又は異性の方から介護を受ける姿を。しかも、寝たきりの期間が長ければ長い程、筋肉の硬縮は進み、腰が曲がらずトイレに座る事も出来ずにオムツを着用され、排尿及び排便をしたいと訴えてもオムツの中にする事を強要される姿を。多分、多分の域を脱しないのが現状ですが、最悪の状態であると想像します。

しかし認知症（ボケ状態）に陥り、昨日（これはまだ軽い方）及

び1時間前はたまた5分前の事すら思い出せない状態になったとしたら…。こんな幸せな状態は他に無いと思います。毎日が朝から新鮮で、自分が言った事、行った事を全く覚えていない。こんな幸せな状態が他にあるでしょうか？

これでは、まだこの幸せに気付ける人は少ないと思います。だから、もう少し噛み砕いて説明していきたいと思います。

朝起きると、自分が何処に居るかがわかりません。この時点では、まず不安を覚えるでしょう。しかし、自分に対し親身に接してくれる人が現れるとその不安は、今まで無かったものかのように消滅します。日常生活において、自立生活を送っている方には当然の事でしょうが、独りでトイレに行きます。しかしこれはトイレが何処にあるのか認識しているから出来るのです。認知症の方は、初めて来た場所と認識するのでトイレの場所が分かりません。なのでトイレと訴える方については、出来る範囲で誘導を行います。しかし、トイレの場所が分からない又、人に聞くなんてとても、という方はトイレを探して徘徊します。しかも昔はトイレといえば和式。そうするとトイレの場所に辿り着いても、そこがトイレであると認識出来ず、徘徊を続けます。結果、放尿・放便、失禁という事になります。また、尿の場合であれば良い方です。服や下着に染み込み床を汚しても、少して済むでしょう。しかし、便の場合最悪です。下着内に不快感を覚える為、手を入れます。手に付いた便を汚い物と認識すれば、身の回りにある物で拭き取り羞恥心から隠します。汚い物と認識出来ない場合、最悪食べるという行動に入ります。(いわゆる異食行為というものです)しかも、その時は悪い事をしたとおとなしくなりますが、すぐに自分がしたことを忘れ大騒ぎします。(そしてこの大騒ぎした事も、当然忘れます。)

食事は習慣により、箸の使い方や食べ方を覚えている場合も多くありますが、認知症の進行具合や種類によっては、これすらも忘れます。(というより、食べ物を食べ物と認識出来なくなると言った

方がいいかもしれません。）それに伴い、食事介助の必要性が発生します。しかも本人は食べ物であると認識していない訳ですから、食べ物としての、食べ物の説明を行いながらの介助となります。（当然ながら、この行為もすぐに忘れず。）

入浴もわかりです。やはり生活習慣で覚えている場合は自力で行えますが、認識出来ない場合自分が今から何をされるのかと不安になります。当然声をかけながら行うのですが、これもここまで言えば分かる通り忘れず。

ひどくなると自分以外の事はたまた自分の事ですら忘れてしまいます。

その為嫌な事も不安な事もすっかり忘れて毎日Happyに過ごせるのです。

ねっ！幸福だと思いませんか？人に迷惑をかけていると、毎日死にたい思いで生活するよりも、毎日新鮮で楽しく生活が出来る。こんな素晴らしい事は、他に無いと思います。

残された家族や親族は、それは言葉で表現出来ない程の苦労をするでしょう。しかし、自分はその家族に迷惑をかけていると認識せず生きていけるのです。

【人間ボケた者勝ち】少しは理解して頂けたでしょうか？

といつても福祉に携わる人にはいろいろな考え、思いを持った方達がたくさんいるので、これが《絶対》という訳ではありません。

(後書き)

少し理解して頂けるとありがたいです。
少し、少しでいいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2147o/>

人間ボケた者勝ち

2010年10月9日22時01分発行